

■目次

●今月のことは	小池 秀章
●表紙のことは	大橋 功・1
「水族館」	江里 康慧・2
●巻頭言	池田 陽子・4
●聴於無声 視於無形	井上 理沙・6
●わたしの保育物語	時田 周道・8
●かわいい子どもたち、素敵な先生方！	野呂 昶・10
●いま、学ぶ、越える	蒲池 房子・14
●さまざまなつながりの中で	坂上 美和・16
●園児向け法話	井田 仁美・18
●ブル	宇野 菜摘・18
●仏典童話	富田富士也・20
●ふしぎな矢	山口 篤子・23
●ともに生きる生かされる 園長わたしの発言	海谷 則之・26
●子どもと共に仏さまと共に	北條 紘文・30
●食育アラカルト・北から南から	福井教区保育連盟の活動について
●むつみ保育園「後編」	●第25代専如門主 伝灯奉告法要記念行事
●食育アラカルト・北から南から	伝灯のつどい・園児による花束贈呈一覽(第9期〜第10期)……
●めぐみ保育園「前編」	●保育のヒタミン
●保育者の心に寄り添うカウンセリング⑥	あなたの夏が、私の夏でありますように……
●夫の園長と職員との関係に	佐々木哲生・34
●苦慮する主任の妻……	
●なぜ？なぜ？先生	
●どうして「ごめんなさい」っていうの？……	
●仏教讀歌	
●みんなのつどい……	
●「まごとの保育」のすすめ 14	
●大悲の光にはぐくまれ……	
●教区だより	

「水族館」

高木 航平 (たかぎ こうへい) 6歳

聖水保育園
(京都教区)

●表紙のことは●



おおはし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科

画面中央に白一色で、大きく描かれている海の生き物はタコでしょうか、イカでしょうか。航平君は、迷いのない線でしっかりと描いています。周りには、カニやイカ、カメにヒトデなど、たくさん種類の生き物をたくさん描いています。それぞれ丁寧に色を塗り分けるなど、その特徴を表そうとしているのがわかります。水族館に行ったというお友だちの話から関心が高まり、みんなで海の生き物を描くことになったそうです。「タコは8本でイカは10本」と足の数を教え合うなど、お友だち同士で話し合ったり、図鑑で詳しく調べたりしながらたくさん種類の生き物の特徴に気づいていったようです。航平君の水槽の中には、人間のような笑顔が描かれているファンタジックな表現と、魚らしい特徴を捉えたりリアルな表現が共存しています。生き物への優しい気持ちと、新しい気づきへの知的な関心の高まりが見られます。